

道徳

第9学年

呉市立広南中学校

指導者 T1 西本樹里

指導者 T2 山崎聖子

主題名

**法や決まりの意義**

教材名

**二通の手紙**（日本文教出版『あすを生きる3』）

内容項目 C-(10) 違法精神, 公徳心

本単元で育成する資質・能力

思考・表現

協力・協働

- 1 対象・日時 第9学年A組 男子9名 女子9名 計18名  
令和5年11月21日（火） 第6校時

**2 主題設定の理由**

- 本主題は、『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』のC-(10)「法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること」に基づくものである。
- 「法やきまり」は、集団に秩序を与え、摩擦を最小限にするために、人間の知恵が生み出したものである。また、社会の秩序と規律を守ることによって個人の自由が保障される。そうした法やきまりを、融通の利かない冷徹なものとして理解したり、自分の欲望のままに生活することを制限するものとして捉えたりして仕方なく法に従うのは、「進んで守る」ということではない。
- 法やきまりは私たちの生活や社会をよりよくするために作られていることを正しく理解し、社会生活の中で守るべき法やきまりを大切にするすることで、秩序と規律ある社会が実現され、一人ひとりの自由や幸せが保障されることを理解させる必要がある。その上で、それらを主体的に守るとともに、よりよい在り方について考えようとする意欲や態度を育てていくことが重要である。
- 本学級の生徒は、これまでの道徳科の授業や学級活動、学校行事や部活動などを通して、よりよい集団生活を送るためには、きまりやルールを守ることが大切であることを学んできた。7月に実施した「生徒アンケート」では、「校則やルールを守って生活している」「地域の中で交通ルールやマナーを守っている」の肯定的回答は、100%であった。しかし、「きまりやルールは自分たちの自由を制限するもの」と否定的に捉えたり、「校則だから仕方なく守る」「少しぐらいなら守らなくてもよい」と自分本位な考えをもっている生徒もいる。
- 本授業を通して、法やきまりを他律的に捉えるのではなく、法やきまりが何のためにあり、大切にすることが何につながるのかということを考えさせて、法やきまりを主体的に守ろうとする意欲や態度を育てる必要があると考える。
- 本教材では、主人公の元さんが動物園の規則を知っていながら、幼い姉弟の願いを聞き入れてしまい、動物園に入園させてしまう。元さんの行動は、姉弟の母親からお礼の「手紙」が届くなど、心情的には理解できるものの、一歩間違えれば大事故になっていたかもしれない行為であった。結果的には、多くの職員に迷惑をかけ、会社からは懲戒処分の「手紙」が届くという内容を扱ったも

のである。これら二通の「手紙」から、生徒は、幼い姉弟や母親、幼い姉弟を動物園に入園させた元さんの心情に共感しつつも、一方で動物園の規則が何のためにあるかについて考えを深めることができる。法やきまりの意義について考えを深め、法やきまりは人々の幸福を守るためにあることを理解し、法やきまりを主体的に守るとともに、よりよい在り方について考えようとする意欲や態度を育成することができる教材である。

指導にあたっては、事前に教材文を読ませ、次の2点について自分の意見・考えをロイロノートに書かせておく。

- ・あなたが元さんなら、幼い姉弟を動物園に入れますか。それとも入れませんか。また、それはなぜですか。
- ・この教材文を読んで大切だと思ったことはどのようなことですか。

授業の導入では、事前に書いた生徒の考えを共有し、「ルールを守ることが大切」という生徒の考えに注目することで、本授業のめあての「きまりの意義」を考えることにつなげる。

展開では、「あなたが元さんだったら、姉弟を動物園に入れるか、入れないか」と問いかける。自分自身の考えをロイロノートで意思表示させ、その理由を全体で交流させることにより、道徳的価値の自覚を深めさせる。中心発問では、個人思考と全体交流を通して、二通の手紙から元さんが気付いたことを考えさせる。また、「元さんが晴れ晴れとした顔で動物園を辞めたのはなぜか」という補助発問を投げかけ、元さんは会社からの処分に納得し、自ら動物園を辞めたことを押さえる。ここでは、「少しくらいなら大丈夫」と甘い判断をしてしまったことは間違っていたこと、子どもの笑顔や幸福など、もっとも大切にしてきたものを守るために規則があることに、元さんがあらためて気付いたことを理解させ、自分たちが安心・安全に生活していくためにきまりがあるという、きまりの意義や大切さに気付かせる。

終末の振り返りでは、本時の授業を通して感じたことや考えたこと、また、今後の生活に生かしたいことをノートに書かせ、法やきまりの意義を理解するとともに、法やきまりを守ろうとする意欲をもたせる。

### 3 本時の学習

#### (1) 本時のねらい

元さんの行動に対する母親からのお礼の手紙と会社からの懲戒処分の手紙を通して、法やきまりの意義について考えを深め、法やきまりは人々の幸福を守るためにあることを理解する。また、法やきまりを主体的に守り、よりよい在り方について考えようとする意欲や態度を育てる。

#### (2) 学習の流れ


	学習活動	主な発問と予想される生徒の心の動き 主な発問 (○) 中心発問 (◎) 補助発問 (●) 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (・) 評価の観点 (☆)
導入 5分 課題意識をもつ	1 事前に読んだ「二通の手紙」についての考えを共有する。	めあて：きまりの意義について考えよう	・事前にロイロノートに提出したものをスクリーンに映す。 ・「規則を守ることが大切」という生徒の考えに注目することで、本授業のめあて「きまりの意義」を考えることにつなげる。
展開前段 30分	2 母親からの手紙が届くまでの内容を確認する。	○ 「二通の手紙」の内容を確認しよう。 ・春休みに毎日、動物園をのぞきにきていた姉弟が、入園終了時間後、保護者の同伴なしで動物園にやってきた。 ・その日は、弟の誕生日だった。 ・元さんは、動物園の規則を破り、姉弟を入園させた。 ・閉門時刻を過ぎても姉弟が戻らず、園内を職員で捜索した。 ・姉弟は園内の雑木林の中の小さな池で遊んでいた。 ・数日後、母親から手紙が届いた。	・話のあらすじを確認する。
	3 元さんの立場になって考え、考えを全体で交流する。	○ もしあなたが元さんだったら、姉弟を動物園に入れますか。入れませんか。それはなぜですか。	・事前に考えた内容に、追記・修正してもよいことを伝える。

<p>展開前段 30分</p>	<p>4 教科書 P.105 から読む。</p>	<p><b>【入れる】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弟の誕生日に動物を見せてあげたいという姉の優しい気持ちを大切にしたいから。</li> <li>・いつも入りたそうに見ていたから、入れてあげないとかわいそうだから。</li> </ul> <p><b>【入れない】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もし入れたことで姉弟に何かあったとき、責任がとれないから。</li> <li>・親と一緒にないと入れないという動物園の規則があるから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元さんに届いた二通の手紙の内容を再確認する。</li> </ul>
<p>学びを深める</p>	<p>5 元さんが考えさせられたこととは何か、考える。</p> <p>個人思考（ノート） ↓ 全体交流</p> <p>集団思考（交流） ↓ 全体交流</p>	<p>◎ 元さんの「この年になって考えさせられることばかりです」の言葉から、元さんが気付いたこととはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姉弟や母親に喜んでもらえたが、もしかしたら大事件になっていたかもしれない。</li> <li>・事故になっていたら感謝されることもなかった。</li> <li>・少しなら規則を破ってよいという自分の考えは浅はかだった。</li> <li>・幼い姉弟の命や笑顔を守るためにきまりがある。</li> </ul> <p>● 「元さんは、晴れ晴れとした顔で身の回りを片付け始めたのだった」とありますが、なぜ、元さんは晴れ晴れとした顔で動物園を辞めたのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親からの手紙にあった、子どもの笑顔や夢、幸福こそ、元さんがもっとも大切にしてきたものである。それを守るために規則があり、「少しくらい」という例外があってはならないことに気付かせる。</li> <li>・元さんは納得の上、動物園を辞めたことに気付かせることで、元さんの真意に迫る。</li> </ul>

<p>展開後段 5分</p>	<p>6 本時のまとめをする。</p>	<p>○ 「きまりの意義」とは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も自分以外の人も守るためにあるもの。</li> <li>・きまりはみんながよりよく生活できるためにあるので、守るべきもの。</li> <li>・みんなが安心・安全に過ごせるように何があっても守らなければいけないもの。</li> </ul>	
<p>終末 10分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">       学習したことを振り返る     </div>	<p>7 今日の学習を振り返る。</p> <p>個人思考（ノート） ↓ 全体交流</p>	<p>○ この時間を通して、あなたが感じたことや考えたこと、今後の生活に生かしたいことはどんなことでしょうか。</p>	<p>☆法やきまりの意義を理解し、自分も法やきまりを守ろうとする意欲をもつことができる。（ノート，発表）</p>


#### 4 板書計画

○ 「きまりの意義」とは



◎ 元さんが気付いたこととは。

- ・大事件になっていたら、感謝されることもない
- ・事故になっていたら、感謝されることもない
- ・「少しなら規則を破ってもよい」という考えは浅はかだった。



元さん

幼い姉弟

- ・2人がかわいそう
- ・少しぐらいいないだろう
- ・2人だけ
- ・弟の誕生日
- ・入園時間は過ぎている

**動物園の規則**

- 入園時間 16:00 まで
- 小学生以下の子どもは保護者同伴

スクリーン

二通の手紙